

進路通信

広島市立祇園中学校



第3学年

2013.4.26

3年生・受検生としての心構えはできていますか？

いよいよ義務教育最後の一年、中学3年生がスタートしました。

今までの先輩たちも2年生までは、「3年生になったらがんばるよ!」といいながら、なかなかがんばれず「夏休みになったら...」「夏休みが終わったら...」と努力を先送りにする人が何人もいました。「気づいたら受験3ヶ月前だった...」ということになる前に、覚悟を決めて精一杯の努力を始めましょう。

勉強も生活面もどちらも大切ですが、今回は生活面について考えてみましょう。

外見だけはすぐに直せる？

「入試のときには直すから」という声を今までも聞いてきましたが、自分の中に甘えがある人は簡単には直すことができません。たとえば...

自分では精一杯直したつもりでも直せていない。

スカートの長さ・まゆ・靴下・頭髪などいい加減な状態が当たり前になっていませんか。少し改善することと決まりを守ることはちがうのです。頭髪やまゆ毛は急には生えてきませんよね。直すなら今から、今日からです。

きちんとした服装が落ち着かない

ボタンを全部留めると苦しい・スカートが長いと恥ずかしい・シャツを入れると落ち着かない...そんな声を聞くことがあります。急に外見だけを整えることができたとしても、「なんだか落ち着かない・恥ずかしい」という状態で入試に臨むこととなります。そしてその落ち着かない態度から普段の姿勢を見破られてしまうのです。やはり、内面が外見に現れてしまうということです。

だからこそ、普段から当たり前のことを当たり前にやっておけばいいのです。

生活態度・服装を見直すなら今しかない!

3年生になって、ほとんどの人が入試や就職について意識しています。そして、「今までよりもがんばらないといけない」と感じているはずですが。勉強・クラブ...いろいろとがんばりたいことがあるでしょうが、今回は生活態度・服装について考えてみましょう。1・2年生のとき決まりをしっかり守れなかったと感じている人は、3年生になった今がチャンスです。今からがんばってみましょう。

「無駄な努力などない」といわれますが、やはり努力した分だけ可能性が広がるものです。もっともわかりやすい例では、きちんとした生活態度・服装ができていれば、一般受験の他に推薦での受験も可能になってきます。



推薦入試とは

昨年度は約25%の3年生が推薦・選抜で進路を決定しています。

受験資格としては次のことが各校に共通しています

- ・受験しようとする学校が第一希望であること（合格したら必ず入学すること）
 - ・志望の動機、理由がはっきりしていて、適性、興味、関心があること
 - ・中学校長の推薦を受けた者であること。
 - ・各高等学校長が別に定める推薦基準を満たしていること（生活態度や成績など）
- その他、学校によって、学習成績・欠席日数などさまざまな基準があります。高校の先生の指導に素直に従える生徒であることが最低限必要です。
- 「中学校長の推薦を受ける」とは、現在の学習態度や生活態度が良好で、進学後も学習や部活動に努力を続けることを中学校として保証するという意味です。

具体的には

- ・指導を受けたときに、その指導を素直に受けとめ前向きに自分を向上させることができる。
- ・積極的に授業に参加し、学習態度が前向きである。（居眠りはもってのほかです）
- ・忘れ物、提出物忘れがきわめて少ない。
- ・社会的規範はもちろん、中学校のきまりを守ることができる。（服装・頭髪など）
- ・遅刻しない、着ベルを守るなど生活に節度がある。
- ・係活動、掃除、生徒会活動、部活動などを通して、自分の責任が果たせ、協力的である。

やっぱり、普段から当たり前のことを当たり前にやっておけば大丈夫なのです。